



## 正しい金銭感覚をどう身に付けるか～『闇バイト』から子ども達を守るために～

近年、高校生や有職少年、大学生をターゲットにした「トクリュウ（匿名・流動型犯罪グループ）」による「特殊詐欺」や「強盗」「違法賭博」、いわゆる『闇バイト』が横行しています。SNSを駆使して参加者を募り、犯罪を実行させて報酬を支払うというやり口です。なぜ、高校生や大学生が簡単にそのような犯罪行為に手を染めてしまうのか。**特に高校生において、このような『闇バイト』を実行してしまうケースは夏休みや冬休みといった長期休みに多くなる**そうです。このようなことを中学生段階から未然に防ぐにはどのようにすれば良いのでしょうか？

マイナビの調査によるとSNSやインターネット上で募集される高額報酬をうたった危険な仕事、いわゆる『闇バイト』に本人も知らないうちに加担してしまうことが多くなっており、「SNSでのアルバイト探しの危険性」について知っている高校生は前年比5.2pt増で50%とまだ約半数に過ぎません。SNSで直接アルバイトの交渉をすると親や身近な大人のチェックが働かず、違法な労働に巻き込まれる危険性があります。親や社会がこのような状況をどう見守っていくかが鍵となります。そのために必要なことは、幼少期から「お金」に関する知識を習得し、実際にお金を扱う経験をすることです。

ベネッセ教育総合研究所（TesTee 調べ）によると、**中学生で毎月お小遣いをもらっている割合は73.2%となっています。また、金額は1,000円～3,000円の範囲が55%**を占めています。だからといって、この金額を与えれば良い経験ができるという問題ではありません。他に祖父母からお小遣いをもらっていたり、何か特別なイベントで必要な場合はこれ以上にももらっていたりと様々なケースがあり、子ども達が実際にどのように「お金」を使っているのかを知るには至りません。

では、中学生のお小遣いの使い道のTOP3は ①友達と遊ぶための交際費 ②推し活等の趣味のための活動費 ③貯金となっています。もし、子どもがお小遣いを貯金しているのであれば、親として「えらいね」と褒めるのはもちろんですが、貯金の目的や目標を持たせてあげるとよいかもしれません。普段買うことができない高価なゲーム機器などの娯楽品、もしくは将来の進学・就職費用など、使用目的と必要な目標額を設定することで積極的に貯金を続けることができると思います。中でも、将来必要なお金を貯金する子どもには「投資」を行うことで、少額であっても資産を増やすことを教える良いきっかけとなります。

そこで、**毎月お小遣いとして「いくら」必要なのかを親子で話し合っ**て決めるのが**重要**です。例えば、友人と映画に行く予定があるなら、映画代と飲食代、交通費等がどの程度必要なのかを計算させてみましょう。お小遣いをその都度「もらえる」という感覚が育ってしまうと、**使い方を工夫する習慣**が身につかなくなってしまいます。（大人も同じですが…）原則として、お小遣いは月1回、2週間に1回など、親子で取り決めをしておくことも大切です。ただし、学用品等は必要に応じて親が購入する等の特約をしておくこともあります。

親が子にお小遣いを与えたのであれば必ずやっておかねばならないことがあります。皆さんもご存知の**「お小遣い帳をつける」**ことです。中学生の年齢であれば紙のお小遣い帳を推奨します。手書きで記入することで、目の前のお金の大切さを感じ取れるからです。そうでなければ、タブレットやスマホで「お小遣い帳アプリ」を使用するのも良いでしょう。計画的にお金を使うことを身に付けることで「お金の大切さ」「お金の価値」「勤労と報酬」といった社会に出て必要な知識を得る事ができます。学校や家庭でのしつけがとても大切だということです。

**どのくらい働いて、どのくらいの賃金が得られるのか？どのくらいの収入で、どのくらいの支出が可能なのか？これを幼少期から学ぶこと**で悪い勧誘法の特徴を見抜き、安全なアルバイトや労働によって報酬を得ることができるようになってきます。これからの輝かしい未来をより安全で充実させていくためにも、親や学校、社会が正しい知識を学び、子ども達に伝えていく義務があると思います。すべては子ども達のため。みんなで忠類地域の子子ども達を育てていきましょう。

校長 出村 聖

～追悼～

去る11月20日、故 松本勝弘（前校長）氏の一周年忌を迎えました。長年にわたる教育への強い思いと信念、そして校長としての手腕、生前のご活躍はもはや述べるまではございません。幕別町教育委員会 笹原教育長をはじめ、本校職員にてご自宅に伺い、御焼香させていただきました。

松本校長先生、今後ともどうぞ忠類中学校を御見守りください。

## 全国学力・学習状況調査の結果から

4月実施の全国学力・学習状況調査（中3対象）について、本校の平均正答率と傾向は以下の通りです。

|     | 平均正答率  | 本校生徒の傾向と課題  |
|-----|--|---|
| 国語  | 全国平均、全道平均をやや上回る。   | ○「読むこと」～目的の応じて伝えたいことを明確にする設問で正答率が高い。<br>○全国・全道と比較し無回答率が低く、粘り強く問題に取り組むことができている。<br>●長文の記述式での回答の正答率が低い。 |
| 数学  | 全国平均をやや下回り、全道平均と同程度。   | ○「数と式」「関数」の正答率が比較的高い。<br>●「図形」～多角形の角度、平行四辺形の性質に関する問題で正答率が低い。  |
| 理科  | 全国平均と同程度、全道平均をやや下回る。   | 今年度はじめてCBT方式（オンライン）で実施。<br>○日常と結びつけて考えたり、データ化す津称したりする問題の正答率が高い。<br>●実験の結果を予想し、分析する問題の正答率が低い。          |
| 質問紙 | 「毎日同じ時間に起床・就寝している」「自分には良いところがある」「先生は自分の良いところを認めてくれていると思う」の設問に「当てはまる」の回答率が高い。<br>全国・全道と比較して、「1日の家庭学習時間（平日・休日）」が少ない傾向。 |   |

2年生の総合の時間にキャリア教育の一環として1日職業体験を行いました。体験を通して、将来の自分について考えるきっかけをもつことをねらいとし、1日学校を離れて、「社会」について学ぶことができました。働くことの意義や働きがいを知る貴重な機会となりました。また、仕事の大変さを実感することもできました。

この学習は、地域の協力なくして実現できません。子どもたちに貴重な経験を積ませていただき、また、親切に対応してくださりありがとうございました。



～職業体験でお世話になった地域のみなさま～  
 食堂このみ セイコーマート (株) しんじゅ  
 井上農場 斉藤車両商会 忠類駐在所 道の駅忠類  
 忠類保育所 幕別図書館忠類分館 忠類小学校

## 努力の足跡～大会結果報告～

### ☆十勝子ども大会 作品展

- 書写の部 佳作 2年 中村 心美
- 工芸・彫刻の部 入選 2年 村田 翼
- デザインの部 入選 1年 小室 龍夢

### ☆幕別町図書館主催 まくたいとる

- デジタルデザイン部門 最優秀賞 1年 黒坂 宏斗  
佳作 1年 野坂 怜音
- 手書きイラスト部門 最優秀賞 1年 小室 龍夢  
優秀賞 1年 島田 桃奈

### 【卓球部】

### ☆11/3 ニッタク杯全十勝選手権大会(個人)

- 3回戦進出 2年 千葉さくら
- 2回戦進出 2年 小畑 凛華

### 【スピードスケート】

### ☆11/22・23 全十勝中学校スピードスケート選手権大会

- 選手権の部 総合6位入賞 1年 黒坂 宏斗
- スピリットの部 総合7位 1年 長田 颯介
- 総合10位 1年 島田 桃奈

1年生の総合では「林業」の仕事について学ぶ授業を行いました。サンエイ緑化の邊見さんによる出前授業では、林業の役割や維持管理の重要性、最先端の技術について学び、生徒たちも興味津々。大坂林業を訪れての授業では、苗から育てる林業や地域貢献について知り、薪割り・火おこしの体験をさせていただきました。1年生にとって「職業」への視野を広げる機会となりました。



### 11/4 ナウマン象マフラーかけ(生徒会)

地域ボランティア「五人会」との共同作業の「マフラーかけ」。今年度は生徒会の生徒を中心に5名の生徒が参加しました。寒い冬を迎える前の冬支度を地域の方と交流しながら行い、ナウマン象を介して、私たちの心も温まる時間となりました。



## 月間予定表

12月

12/1(月) 常任委員会

2(火) 授業参観日・全体懇談会

5(金) 3年: 学力テスト

15(月) ちゅうるい学園小中合同研修会

(5時間授業)

17(水) 1・2年: 標準学力調査

3年: 後期期末テスト

ちゅうるいワークショップ(福寿)

19(金) 生徒会イベント

21(日) 全十勝冬季スピードスケート大会

23(火) 大掃除

24(水) 2学期終業式

25(木) ~ 冬季休業日 1/13まで(20日間)

この度、有限会社 荒川ワークス様より数々の学校備品のご寄付をいただきました。心より感謝申し上げます。

(今回寄贈いただいた備品等)

- ・図書室用テーブル、イス ・ホワイトボード
- ・活動室用イス ・プリンター ・長机
- ・防球ネット ・グラウンド整備用具

感謝